

津島分校人権だより 津島分校人権委員会

ひゅーまんらいつ

令和3年 第4号



第1回人権・同和教育ホームルーム活動報告

先日6月17日に今年度、第1回目の人権・同和教育ホームルーム活動が各クラスにおいて実施されました。各学年の教室では担任の先生や、人権委員、係の生徒を中心に熱心にホームルーム活動に取り組んでいました。今回は各クラスの取組を紹介します。

1年1組 主題『私たちと人権問題Ⅰ よりよい人間関係をつくろう』

○ 新たな集団の中で人間関係を築く上で、様々な出身中学で構成される1年1組の生徒たちにとって、思いやりの心を持って友達に接することと大切さについて改めて考える。

【皆さんの感想】

- ・ 「人に優しく生きよう」と思っていると自分を傷つけることになります。自分自身のことも大切にしたいです。
- ・ 人と関わる以上は自分が傷つくことも増えるし、相手を恨むこともあるかもしれないけれど、その相手との距離感を考え、支え合って生きていくことが大切ではないかと思いました。



2年1組 主題『人権の歴史に学ぶⅠ 差別はどのようにしてつくられたか』

○ 部落差別が成立した過程を学び、中世の差別と近世の差別の違いを知ることで、部落差別の起こりについて正しい知識を身に付け、様々な人権問題の解決のために主体的に取り組む。

【皆さんの感想】

- ・ 身近な宇和島で一揆があったことを知らなかったの、知ることができてよかった。
- ・ 嘆願書を出すのにどれだけの勇気が必要であり、村人がどれだけ頑張ったのか、そして宇和島藩の人々の協力もあって嘆願は成功したのだということを知った。改めて、差別はだめだと思った。
- ・ 日々の信頼されるような関わりが大切だと思った。



3年1組 主題『人権問題を解決するためにⅠ 確かな進路保障のために』

○ 3年生にとってより身近になった就職や進学について、その選考が公正に行われることの大切さを学び、差別を見抜く力を身に付け、正しい判断のもと行動ができる実践力を養う。

【皆さんの感想】

- ・ 面接官の質問をよく聞いて答えようと思った。差別につながるおそれのある質問をされていることに気がつかなければ、自分もそして周りの人も傷つけてしまう。
- ・ 昔は社用紙調査で不利になることが多かったことを知って今それが少ないのは、昔の生徒や先生たちのおかげだと思った。
- ・ 面接で不適切な質問もあるのだということがわかった。前の人たちのおかげで、今は少なくなっているのだと知った。
- ・ 今まで大丈夫だと思っていた質問が、本当は答えてはいけないということを知った。もし、そのような質問を受けた時は答えないということが正しいということを知った。

君はまだ出会っていないんだ
君自身に
君はまだ出会っていないんだ
君の本当のちからに

君のやさしさ
君の強さ
君のかしこさ
君の良さ



君はまだ出会っていないんだ
君自身に
君はまだ出会っていないんだ
君の本当のちからに

君のねばり
若い日々はもちろん
若い日々はもちろん
若い日々はもちろん
君のまじめさ
君の豊かさ
君の美しさ

君はまだ出会っていないんだ
君の本当のちからに
君が今、出会っているのは
「たった今のつかのまの君」だ
まだまだ本当の君ではない

本当の自分に会うのは難しい
本当の自分を探りあてるには
時間がかかる
本当の自分にめぐり会うには
たたかひが必要だ
本当の自分をつくるために
みんな生まれてきた

【今日の人権デーの感想】

若い日々はもちろん
生きているすべての日々は
そのためにある
本当の自分に出会う旅路だ

まだ本当の自分に
出会ってもいないのに
もうダメだと決めてしまう

本当の自分に出会う
努力もはらわなくて
自分にちからがないと
思いこんでいる人がいる

まだ出会っていないんだから
本当の自分のちからは
想像もつかない
どんな出会いがあるか
まるでわからない
不安に思うことはない
今、確実な君の歩みが
あるならば
むずかしいことなどと
思うことはない
今、誠実な君のたたかひが
続いているなら

君は 君に出会うのだ
君は 君をつくるのだ
君は 君の歩みを続けるのだ

君はまだ出会っていないんだ
君自身に
君はまだ出会っていないんだ
君の本当のちからに



みなさんは今、輝いた
生き方ができていま
すか？
そして、自分探しをして
いますか？

みなさんは、必ず輝く
もの持っています。自
分に自信を持ってこれ
からも、高校生活を送
っていきましょう。

